

令和6年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価結果に関する報告書

(令和5年度対象)

令和7年1月

石岡市教育委員会

目 次

1. 点検・評価制度の経緯・目的

- (1) 経緯 2
- (2) 目的 2

2. 点検・評価の概要

- (1) 点検・評価の対象 3
- (2) 点検・評価の方法 3
- (3) 学識経験者の知見の活用 3

3. 各事業の取組実績に対する点検・評価

- (1) 事業名一覧 5
- (2) 歴史・文化財の保存・活用 6
- (3) 魅力の活用・創出 8
- (4) スポーツを通じた関係人口の拡大 9
- (5) 子育て家庭支援の充実 10
- (6) 創意ある学校教育の推進 12
- (7) 地域と連携した教育の推進 15
- (8) 学校教育環境の整備・充実 19
- (9) 生涯学習の推進 21
- (10) スポーツの振興 23
- (11) 文化・芸術の推進 24

4. 令和5年度教育委員会の点検評価における点検・評価委員の

- 意見に対する令和6年度の取組状況 26

5. 参考資料 35

1. 点検・評価制度の経緯・目的

(1) 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月から施行されました。

これにより、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正目的である教育委員会の責任体制の明確化の一つとして、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

(2) 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、学校教育、社会教育等に関する事務を執行する行政機関として、全ての都道府県及び市町村に設置されている行政委員会です。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、複数の教育委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、事前に教育委員会が立てた基本方針に沿って具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後に点検・評価を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

石岡市教育委員会では、主要な施策や事務事業の取組状況について点検・評価を行い、課題の取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進及び市民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進することを目的として、その結果を報告書としてまとめました。

◆地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）◆

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の概要

(1) 点検・評価の対象

《『第1期基本計画』で掲げた政策目標を達成するための

基本施策・主要事業を中心に点検・評価》

令和13年度までの長期的な将来構想である『基本構想』における将来像「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」の実現に向け、市の抱える課題や多様な市民ニーズに的確に対応するため、令和4年度から令和5年度までの2年間の行動計画として、『第1期基本計画』が策定されています。

そこで掲げた9つの政策目標のうち、教育委員会では、「歴史・観光」、「子育て・教育・学び」、「地域・文化」の中の10の基本施策が該当いたします。

今回、点検・評価をする事務事業は、教育委員会各課（館）が所管している令和5年度事業で掲げた主要事業及び、前回の点検評価で意見を付された事業について実施いたしました。

なお、教育委員会事務局組織機構については、別添34ページ『参考資料①』のとおりです。

(2) 点検・評価の方法

《事務事業分析シートを活用しての点検・評価》

点検・評価の方法については、各教育委員会の創意工夫により行うものとされています。

今回、点検・評価をするに当たり、石岡市で作成している事務事業分析シートを基に点検・評価表を作成し、担当課による今後の課題・問題点、今後の方向性についての自己点検・評価を行いました。

その後、2名の石岡市教育事務点検・評価委員（教育に関し学識を有する方として教育委員会から委嘱）から、自己点検・評価の結果について、ご意見・要望等をいただきました。

(3) 学識経験者の知見の活用

《石岡市教育事務点検・評価委員》

教育に関し学識経験を有する者（以下「点検・評価委員」という。）の知見の活用については、点検・評価の客観性を確保するためのものです。

なお、石岡市教育事務点検・評価委員要綱については、別添35ページ『参考資料②』のとおりです。

【石岡市教育事務点検・評価委員】

氏 名	備 考
濱 田 裕 信 氏	元学校長
関 川 恵 一 氏	元市 P T A 連絡協議会会長

私たちは、石岡市教育委員会の活動について、教育委員会が自ら行った「点検及び評価」を評価するに当たり、事前に関係資料に基づく情報収集を行いました。

その上で、各事業担当課職員からヒアリング等を行い、石岡市における教育行政の現状や課題の把握、今後の対応方針や方向性等を確認し、また、前回の各事業に対する意見への取組状況などの説明を受け、対象となった事業に対し、それぞれ意見を述べました。

ますます財政的制約が厳しさを増す中ではありますが、引き続き各事業の見直しを行うとともに、点検及び評価や本意見等を精査し、必要に応じた予算の確保・団体等への支援及び予算額の適正な配分に努めてください。

この事業評価が、適正かつ効果的な教育施策に反映されるよう、さらなる教育行政の推進を期待します。

令和 7 年 1 月

石岡市教育事務点検・評価委員 濱 田 裕 信

同 関 川 恵 一

3. 各事業の取組実績に対する点検・評価

令和6年度点検・評価事業名一覧（令和5年度実施事業）

P	第1期基本計画 基本施策名	事業名	担当課
6	歴史・文化財の保存・活用	発掘調査事業	文化振興課
7	歴史・文化財の保存・活用	文化財保護保存及び普及経費	文化振興課
8	魅力の活用・創出	筑波山地域ジオパーク推進事業	文化振興課
9	スポーツを通じた関係人口の拡大	スポーツイベント事業	スポーツ振興課
10	子育て家庭支援の充実	放課後児童健全育成事業	生涯学習課
11	子育て家庭支援の充実	家庭教育推進事業	生涯学習課
12	創意ある学校教育の推進	学校いきいきプラン推進事業	教育総務課
13	創意ある学校教育の推進	語学指導事業	学校教育課
14	創意ある学校教育の推進	学校給食調理事業	学校給食課
15	地域と連携した教育の推進	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
16	地域と連携した教育の推進	青少年相談員体制推進事業	生涯学習課
17	地域と連携した教育の推進	青少年を育てる石岡市民の会等による青少年育成活動支援事業	生涯学習課
18	地域と連携した教育の推進	子ども会育成事業	生涯学習課
19	学校教育環境の整備・充実	小中学校コンピュータシステム整備事業	教育総務課 学校再編推進室
20	学校教育環境の整備・充実	学校統合再編事業	教育総務課 学校再編推進室
21	生涯学習の推進	図書館ブックスタート事業	生涯学習課 中央図書館
22	生涯学習の推進	公民館の事業	中央公民館
23	スポーツの振興	スポーツ振興事業	スポーツ振興課
24	文化・芸術の推進	美術展・芸術祭・文化祭等の開催事業	文化振興課
25	文化・芸術の推進	文化・芸術関係団体への支援事業	文化振興課

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	発掘調査事業		担当課	文化振興課	
第1期基本計画基本施策名	歴史・文化財の保存・活用				
事業の目的・概要	<p>国民共有の財産である埋蔵文化財を保存・保護します。 市内の開発行為地や県が主体となる事業地内の発掘調査を進めます。 茨城廃寺跡や茨城郡家推定地の範囲調査及び瓦塚窯跡の出土遺物の整理作業を進めます。 出土した遺物の保存処理を行います。</p>				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		10,405	12,358	84.2%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		26,197			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	開発行為に伴う試掘件数	市内の開発行為に係る試掘調査件数	60件	88件	146.7%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	市内全体の発掘調査箇所数	市内における試掘調査及び発掘調査件数	61件	92件	150.8%
課題・問題点	<p>開発件数は増加傾向にあり、開発行為者や土地所有者と協議をしながら、調査を進めていく必要があります。 出土した遺物の適正な管理のため、継続して保存処理を進めていく必要があります。</p>				
今後の方向性・担当課の自己評価	<p>埋蔵文化財の保護を念頭に、今後も開発行為者や土地所有者と協議をしながら調査を実施します。 遺跡から発掘された遺物の適正な管理を継続して実施します。</p>				
点検・評価委員の意見	<p>発掘調査箇所数が目標を超えており、出土した遺物の適正な保存管理に向けた施設の確保を進めていただきたい。</p>				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	文化財保護保存及び普及経費		担当課	文化振興課	
第1期基本計画基本施策名	歴史・文化財の保存・活用				
事業の目的・概要	<p>貴重な文化財の保護・保存のため、歴史・文化財に対する理解と普及啓発を図ります。</p> <p>文化財保護審議会等を開催します。</p> <p>指定文化財修理費の補助等による文化財の保存を行います。</p> <p>国指定史跡等の維持管理を行います。</p> <p>ふるさと歴史館を活用し市内外の来館者へ当市の魅力を伝えます。</p>				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		47,813	69,328	69.0%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		60,392			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	文化財の指定・登録件数	国・県・市の指定・登録文化財数	145件	145件	100.0%
	歴史ボランティアの会の会員数	石岡市歴史ボランティアの会の会員数	27人	28人	103.7%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	ふるさと歴史館の来場者数	市の歴史を紹介するふるさと歴史館の入館者数	1,500人	1,910人	127.3%
課題・問題点	<p>現在の施設では、出土した遺物や寄贈された文化財を適正に保管することは難しい状況です。</p> <p>文化財の保存・活用を進めるためには、計画的に予算を確保するとともに、専門的な知識を有する職員の配置が必要です。</p>				
今後の方向性・担当課の自己評価	<p>貴重な文化財を後世に伝えるため、施設を含め保存管理に必要な措置を講じます。</p> <p>文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保護体制の確立や魅力発信等に努めていきます。</p>				
点検・評価委員の意見	<p>石岡市の歴史や文化財に対する理解や関心を高めるため、石岡のおまつり等とその歴史的背景、地域の営みをタイアップして紹介するなど、別視点からの普及啓発の方法を検討してはどうか。</p>				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	筑波山地域ジオパーク推進事業	担当課	文化振興課		
第1期基本計画基本施策名	魅力の活用・創出				
事業の目的・概要	筑波山地域ジオパークについて観光・文化・教育等多角的に周知・啓発を行うとともに、周辺環境の整備により、交流人口の拡大を図ります。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		2,186	2,805	77.9%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		3,745			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	ジオツアー・ジオ授業実施件数	ジオツアーやジオ授業等関連する事業の実施件数	10件	19件	190.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	日本ジオパークの認定維持	筑波山地域ジオパークの認定を維持する。認定された状態を1とする。	1	1	100.0%
課題・問題点	前回再認定時の課題として、学校教育との連携や多様なジオツーリズムのあり方の検討が挙げられていることから、その対応が必要です。				
今後の方向性・担当課の自己評価	再認定に向けて、学校教育との連携を強化し、ふるさと学習等におけるジオパーク授業を増やしていくことで、ジオパークの視点による地域資源の魅力発信と、次世代を担う子どもたちの郷土愛の醸成を図ります。 また、ジオツーリズムについては、広域的な定番ツアーの創出など、構成6市や認定ジオガイドが連携した取組を行います。				
点検・評価委員の意見	それぞれの地域資源について、その時代の地域の様子や人々の生活に思いをはせるような視点を組み込み、観光・文化・教育の視点から活用を図っていただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	スポーツイベント事業	担当課	スポーツ振興課		
第1期基本計画基本施策名	スポーツを通じた関係人口の拡大				
事業の目的・概要	誰もが楽しみながら参加できるようなスポーツイベントを開催することで、体力づくりと運動意欲増進を図ります。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		15,958	17,090	93.4%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		17,240			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	石岡つくばね ハーフマラソン	マラソン申込者数	3,000	2,459	82.0%
	スポーツイベント 開催事業	スポーツフェスティバル ～みんなで楽しくわくわく～	100	320	320.0%
	筑波連山天空ロード &トレイルラン	トレイルラン申込者数	1,000	984	98.4%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	スポーツイベント 参加者数	スポーツイベント参加者 数	4,100	3,763	91.8%
課題・問題点	新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら開催に向けて取り組んでまいりました。今後も通常の事業展開を行うにあたり、コロナウイルスにも注視しながら、大会が実施出来るように努めてまいります。				
今後の方向性 ・担当課の自己評価	第1回のハーフマラソンが開催したことにより、今後も関係団体等との協議・連携を行います。同様に、トレイルランについても関係団体との調整に取り組んでいきます。 また、スポーツイベントは競技種目(ニーズ)等を考慮したイベントを引き続き実施していきます。				
点検・評価委員の 意見	第1回ハーフマラソンが無事に開催できた点について評価したい。参加者や観戦者等の意見を次の大会に反映させ、よりよい大会にしていきたい。 また、恋瀬川サイクリングロードなどの地域資源を活用した新たなイベントも検討していきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	放課後児童健全育成事業		担当課	生涯学習課	
第1期基本計画基本施策名	子育て家庭支援の充実				
事業の目的・概要	就労等のため放課後に保護者がいない家庭の児童が、安全・安心に過ごせる居場所を提供するとともに、児童の健全育成を目的に児童クラブを設置・運営しています。				
事業コスト	令和5年度	決算額計（千円）	予算額計（千円）	執行率（%）	
		384,611	402,221	95.6%	
	令和6年度	予算額計（千円）			
		303,356			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	受入児童数	児童クラブに在籍する児童数（年度末時点）	800	862	107.8%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	待機児童数	入所希望者で児童クラブに在籍できない児童数	0	0	100.0%
課題・問題点	支援員の質の向上と多様な保護者ニーズに対応するため、民間事業者に運営を委託し、多彩な研修を行うなど質の高い保育ができるようになりました。就労世帯の増加に伴い入所児童が増加しており保育場所の確保が課題となっています。				
今後の方向性・担当課の自己評価	運営を民間事業者へ委託したことにより、支援員の質の向上や利用者の問題などを迅速に解決できるようになりました。				
点検・評価委員の意見	子ども同士の交流の場にもなっているようなので、引き続き安心して利用できる施設運営をお願いしたい。 また、配慮を要する児童が増加傾向にあり、対応が難しくなっていると思うので、そうした児童への適切な対応もお願いしたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	家庭教育推進事業	担当課	生涯学習課		
第1期基本計画基本施策名	子育て家庭支援の充実				
事業の目的・概要	全ての教育の出発点として重要となる家庭教育の充実のため、また、複雑化する家庭での問題の解決のため、家庭教育力向上推進委員会の設置や訪問型家庭教育、家庭教育学級や子育て学習講座等の各種事業を実施しています。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		1,343	1,693	79.3%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		1,780			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	対応家庭数	家庭教育支援員が対応した家庭数	20	17	85.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	長期欠席児童生徒数	30日以上小中学校を欠席した児童生徒数(病欠等含む)	84	192	43.8%
課題・問題点	幼稚園及び保育園、小中学校での家庭教育学級の実施回数及び参加人数は前年度より増加しましたが、依然としてコロナ禍前の水準には戻っていません。また、保護者が就労している保育所では、家庭教育学級を開設することが難しい状況にあります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	就学時健康診断後に個別面談を行い、就学児を持つ保護者を中心に支援をすることができました。今後も、オンラインや動画視聴、家庭教育だよりの作成・配布等保護者の就労に関わらず、悩み・困り事に対応できるよう創意工夫を図っていきます。				
点検・評価委員の意見	どのような家庭でも子育てに何らかの悩みを抱えていると思うが、一方で家庭教育支援員が対応した家庭数は少数にとどまっている。悩みを抱える保護者や家庭が孤立することなく支援につなげることができるよう周知を図るとともに、相談しやすい環境の整備をお願いしたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	(小学校・中学校) 学校いきいきプラン推進事業	担当課	教育総務課		
第1期基本計画基本施策名	創意ある学校教育の推進				
事業の目的・概要	多様な経歴を有する社会人を講師とした学習活動、校外学習等（社会科見学、福祉活動、地域住民との交流等）の授業を行い、各小中学校の独自性を尊重しながら、児童生徒の生きる力を育成します。 各学校の事業計画に基づき、特色ある事業を展開し、学校の独自性をいかした教育を実施します。				
事業コスト	令和5年度	決算額計（千円） 12,174	予算額計（千円） 15,125	執行率（%） 80.5%	
	令和6年度	予算額計（千円）			
		13,932			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	講師謝礼の配当	外国語講師や体験実習講師謝礼として支出	23校	15校	65.2%
	需用費の配当	いきいきプラン事業に要する需用費への支出	23校	23校	100.0%
	使用料及び賃借料の配当	車借り上げ等の賃借料の支出	23校	23校	100.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	計画事業件数	各学校で計画・実施した年間事業数	230件	211件	91.7%
課題・問題点	各小中学校が独自に事業を計画・実施していますが、恒常化した「例年通り」の事業が散見されることから、事業内容及び予算配当について精査が必要となっています。				
今後の方向性・担当課の自己評価	各小中学校において独自性を生かした主体的な事業が実施されています。引き続き、石岡市学校教育指導方針に基づいた探究的な学びにつながるよう、既存事業にとらわれないより質の高い事業を検討・実施していく必要があります。				
点検・評価委員の意見	限られた予算を有効に活用していくため、既存事業の優先順位を見直しつつ、喫緊の課題となっている自然災害や人口減少問題などの社会問題について考える力を育む機会として本事業を活用していくよう、教育委員会としても引き続き学校への助言、指導を実施していただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	語学指導事業	担当課	学校教育課		
第1期基本計画基本施策名	創意ある学校教育の推進				
事業の目的・概要	<p>中学校における英語教育の改善・充実を図るため市内5中学校でALTによる訪問指導を実施しています。平成21年度から小学校5・6年生を対象に外国語活動が導入されたため小学校においてもALTの訪問指導を開始し、現在は小学校中学年からを対象として実施しています。</p>				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		66,898	66,898	100.0%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		66,898			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	英語に興味を持つ児童数の割合(小学校)	英語でもっと会話したいと思う児童数の割合(アンケート:指導室実施)	95	85	89.5%
	英会話県大会出場校数	英語プレゼンテーション大会の県大会に進出した学校数	2	0	0.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	学習意欲の向上	いろいろな国の言葉や文化について興味を持つ児童の割合(アンケート:学校教育課実施)	95	94.6	99.6%
課題・問題点	<p>英語の免許を所持していない小学校教員が、より効果的な外国語の授業を行うには、ALTとの連携・協力による生きた英語のやり取りに触れることが大切です。それにより、授業の中で児童の英語の発話や会話を増やすなど、英語のシャワーによる授業を行えるようにしていくことが課題です。</p>				
今後の方向性・担当課の自己評価	<p>小中学校の教員対象に、授業づくりや評価に関する研修を実施してきました。小中学校間の授業方法や学習内容が共通理解されてきています。今後は、小学校で培った児童の英語力が、中学校の授業へとスムーズに接続できるよう、研修会を継続的に行います。</p>				
点検・評価委員の意見	<p>グローバル化が進む中で、学校での外国語学習を、いかに私生活に生かす言葉としていくことができるかが重要である。小規模校合同での学習や文化交流を交えての指導など、これまでと異なる指導方法も検討していただきたい。</p>				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	学校給食調理事業	担当課	学校給食課		
第1期基本計画基本施策名	創意ある学校教育の推進				
事業の目的・概要	市内小中学校の児童・生徒、教職員分の給食を調理・配送し、安全・安心な給食を提供するとともに、生活における食事の大切さを指導します。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		306,401	306,764	99.9%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		311,911			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	食育指導実施回数	給食指導回数	140回	185回	132.1%
	地場産物の活用	第3次健康いばらき21プラン 目標値50%以上(H30~R5年度)	78.0%	76.7%	98.3%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	給食提供回数	食中毒及び調理事故等による 給食停止件数	0件	0件	100.0%
課題・問題点	昨今の物価高騰のため、調味料等及び多くの食材が値上がりしており、予算内での食材の確保に苦慮している状況です。 食育については、4名の栄養教諭が中心となり、各学校への食育指導を実施しておりますが、学校間の指導量に差が見られバラつきがある状況です。				
今後の方向性 ・担当課の自己評価	より一層の地場産品食材の活用及び、安全安心な給食の提供に努めるとともに、子どもたちが興味を持つような食に関する指導の充実に取り組んでいきます。				
点検・評価委員の意見	給食の実施にあたり、食中毒や事故等がなかったことは素晴らしい。食材の高騰などの課題はあるが、引き続き学校や家庭と連携して事故等の未然防止に努めていただきつつ、今後も地場産物の活用や食物アレルギー対策を徹底していただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	放課後子ども教室推進事業		担当課	生涯学習課	
第1期基本計画基本施策名	地域と連携した教育の推進				
事業の目的・概要	<p>地域の方々の参画を得ながら、様々な体験学習・交流活動等を定期的・継続的に提供し、子どもたちの社会性・自主性・創造性を育みます。</p> <p>また、世代間交流や、地域社会の子どもを育てる教育力の向上を図ります。</p>				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		46	110	41.8%	
	令和6年度	予算額計(千円)		110	
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	実施校数	放課後子ども教室を実施した校数	19	19	100.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	参加児童・幼児数(延べ人数)	放課後子ども教室に参加した延べ人数	3,000	6,235	207.8%
課題・問題点	放課後子ども教室は、主に市内小学校施設を使用して実施しているため、児童数等学校の規模により、活動場所の確保や参加に伴う下校時の人数減が懸念される等の課題があります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	民間活力の導入、学校の理解、地域の協力により、大きな怪我や事故がなく、多様な体験活動・交流学习等を安全・安心に実施することができました。今後も学校や地域との連携を図り、活動場所の確保や下校時の地域による見守りの協力など支援体制の強化を目指します。				
点検・評価委員の意見	小学校全校で放課後子ども教室を実施しており、その参加人数も目標を上回る数値となっている。引き続き関係各所と連携しながら事業の充実を図るとともに、活動場所の確保に努めていただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	青少年相談員体制推進事業	担当課	生涯学習課		
第1期基本計画基本施策名	地域と連携した教育の推進				
事業の目的・概要	青少年の非行を未然に防止し、健全な青少年を育成するために、青少年相談員による街頭活動及び青少年相談員協議会の各種活動を補助支援します。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		6,228	7,332	84.9%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		7,474			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	街頭巡回指導活動	定期・早朝・日没・一斉・祭礼時の巡回指導回数	70	61	87.1%
	広報紙発行	「青少年相談員だより」の発行回数	2	2	100.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	声かけ回数	青少年相談員が街頭巡回指導活動の際に青少年に声をかけた回数	3,900	3,061	78.5%
課題・問題点	地域の人口減少に伴って、青少年相談員の成り手不足や高齢化が進んでおり、青少年の健全育成と非行防止を図るうえで、新たな担い手の確保について課題があります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	青少年相談員の街頭巡回指導活動延べ参加人数(583人)は前年度より101人増えました。今後も巡回指導時の青少年への関わり(声かけ等)を積極的に行い、青少年の健全育成、非行防止を推進していきます。				
点検・評価委員の意見	青少年相談員による街頭巡回指導は、非行防止や健全育成になくってはならない活動である一方、相談員の高齢化やなり手不足が進んでいる。こうした中で新たな相談員を確保するためには、新たな切り口も必要になると思うので、関係機関や団体等との連携を視野に入れていただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	青少年を育てる石岡市民の会等による青少年育成活動支援事業	担当課	生涯学習課		
第1期基本計画基本施策名	地域と連携した教育の推進				
事業の目的・概要	青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、青少年を育てる石岡市民の会等による各種活動を補助支援します。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		6,228	7,332	84.9%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		7,474			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	「少年の主張」県大会応募数	市内中学校からの「少年の主張」県大会への応募数	10	10	100.0%
	家庭の日絵画・ポスターコンクール	絵画ポスターコンクールへの市内小中学生の応募者数	470	213	45.3%
	視察研修参加者数	市民の会主催の視察研修への参加者数	25	15	60.0%
	茨城県推進大会参加者数	青少年健全育成茨城県推進大会への参加者数	25	22	88.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	青少年を育てる石岡市民の会会員数	青少年を育てる石岡市民の会に加入している戸数	11,500	9,929	86.3%
課題・問題点	小学校区ごとに19支部が組織され、地域に根差して活動していますが、地域の人口減少、会員の高齢化、学校の統廃合などに伴い、会員数が減少している課題があります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	視察研修(土浦地区研修会)や県推進大会に参加しました。今後も、「会報」の全戸配布や小中高等学校での合同あいさつ運動等の事業により、広く市民に青少年健全育成活動への周知・理解を図り、会員数の確保及び支援体制の強化を目指します。				
点検・評価委員の意見	以前は子ども会と連携した事業を行っているところもあったようだが、現在はそういった事業もなくなってしまっている。団体の活動支援なので難しい部分もあると思うが、活発な活動ができるよう周知・啓発を進めていただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	子ども会育成事業	担当課	生涯学習課		
第1期基本計画基本施策名	地域と連携した教育の推進				
事業の目的・概要	学年を超えた連帯感と地域の教育力の向上を図るため、単位子ども会の安全共済会、保険加入手続きなどを補助支援します。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		100	112	89.3%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		116			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	主催事業数	石岡市子ども会育成連合会が主催する事業数	4		0.0%
	子どもフェスティバル	参加者数	16,000		0.0%
	スキー研修会	参加者数	60		0.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	小学生の単位子ども会加入数	市内小学生が単位子ども会に加入している割合	70	40.3	57.6%
課題・問題点	子ども会を取り巻く環境の変化などから、石岡市子ども会育成連合会(石子連)に加入する単位子ども会及び児童が年々減少し、協議の上、石子連を令和4年度末で解散しました。石子連がない中で単位子ども会を支援していく必要があります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	年々子ども会加入児童数は減少しておりますが、児童の健やかな成長に大きな役割を果たしている子ども会事業について、単位子ども会は存続しているため、引き続き支援を行っていきます。				
点検・評価委員の意見	少子化が進む中、子ども会のあり方についても検討が必要な時期にきていると思う。一部の学校には単位子ども会は存続しているとのことなので、引き続き支援をお願いしたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	小中学校コンピュータシステム整備事業	担当課	教育総務課 学校再編推進室		
第1期基本計画基本施策名	学校教育環境の整備・充実				
事業の目的・概要	市内小中学校に教職員が使用できる校務用コンピュータをリース方式により整備し、教職員の事務の効率化を図ります。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		53,127	58,854	90.3%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		76,810			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	小中学校校務用コンピュータ整備	教職員が使用するコンピュータの整備校数	24	24	100.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	小中学校校務用コンピュータ整備	教職員が使用するコンピュータの整備校数	24	24	100.0%
課題・問題点	校務用パソコンを教職員1人1台整備し、事務の効率化が図られています。また、校務支援システムを導入することにより成績処理等の業務も電子化されています。				
今後の方向性・担当課の自己評価	令和6年度において、各学校に設置しているサーバーの集約とセキュリティ強化を行います。今後、ネットワークの無線化など利便性の向上について検討していきます。				
点検・評価委員の意見	校務用システムの更新により、さらに事務の効率化やセキュリティの強化が図られることは喜ばしいこと。教職員のなり手不足といわれる中で、業務改善につながるよう、ネットワークの無線化等の利便性向上にさらに取り組んでいただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	学校統合再編事業	担当課	教育総務課 学校再編推進室		
第1期基本計画基本施策名	学校教育環境の整備・充実				
事業の目的・概要	児童生徒数の減少に伴う小規模学校を解消するため、石岡市立小中学校統合再編計画に基づき、学校の統合再編に向けた説明会等を実施します。また、統合に向けて南小学校の長寿命化改良工事を実施します。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		1,352,366	1,586,143	85.3%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		75,907			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	統合に係る説明会等	統合再編に係る説明会等開催回数(八郷地区小学校)	2回	2回	100.0%
	統合検討委員会	統合に向けた検討委員会開催数	南小2回 府中小2回	4回	100.0%
	統合に係る専門部会	検討委員会下部組織の専門部会開催数	南小3回	3回	100.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	小中学校統合再編	小学校 5校 中学校 3校 小中一貫校 2校	10校	20校	50.0%
課題・問題点	統合再編計画の枠組みの内、南小学校(高浜・三村・関川・南)及び府中小学校(北・府中)について令和6年4月に統合を行いました。が、八郷地区小学校の枠組みの統合の進捗が遅れています。				
今後の方向性・担当課の自己評価	石岡市立小中学校統合再編計画の見直しを令和6年度中に行い、八郷地区小学校の統合に注力していきます。また、閉校した4校の内、活用が決まっていない3校について、民間提案を募集しています。				
点検・評価委員の意見	学校は、勉強を教えるだけでなく人との関わり方等を学ぶ場でもあり、ある程度の人数がいることでより指導効果も高まることから、児童生徒を第一に考えて統合に向けて進めていただきたい。また、閉校となった学校施設の利活用についてもさらに検討いただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	図書館ブックスタート事業	担当課	生涯学習課 中央図書館		
第1期基本計画基本施策名	生涯学習の推進				
事業の目的・概要	乳児健診の際に保護者も含めて読み聞かせを行ったり、図書館で選定した絵本等を贈呈することで、読書に親しむ機会を創出し、子どもの読書環境の整備を推進します。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円) 1,020	予算額計(千円) 996	執行率(%) 102.4%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		1,321			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	石岡市 ブックスタート	ブックスタート実施回数	12	12	100.0%
	ブックスタート ボランティア	ブックスタートボラン ティア登録人数	30	17	56.7%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	ブックスタート 参加人数	ブックスタート	404	320	79.2%
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 継続した親子間での読書環境の推進 読み聞かせボランティアの確保 				
今後の方向性 ・担当課の自己評価	継続した親子間での読書環境の推進を図るため、ブックスタートのフォローアップ事業として、令和6年度からセカンドブック事業(2歳児健診時)を新たに展開します。				
点検・評価委員の 意見	親と子で読書に親しむ機会を創出するうえで、図書館でこのような事業を実施することは意味があることであり、今後も、読書への関心や図書館利用の促進につなげていただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	公民館の事業	担当課	中央公民館		
第1期基本計画基本施策名	生涯学習の推進				
事業の目的・概要	各種講座・学級等の開催による学習機会を提供するとともに、各種団体の公民館使用による支援を行います。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		32,903	35,075	93.8%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		48,969			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	講座の開催	公民館講座の開催数	20	28	140.0%
	公民館まつりの開催	公民館まつりの来館者数	1,100	494	44.9%
	公民館利用者数	各種団体の公民館利用の促進	20,000	28,692	143.5%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	講座の開催	公民館講座の参加者数	1,000	435	43.5%
課題・問題点	生きがいのある「人生」を送るための公民館活動の促進を図る必要があり、そのためにニーズにあった講座の開催等により、地域に根ざした活動、特性を生かした公民館活動が望まれています。				
今後の方向性・担当課の自己評価	ニーズにあった各種講座、学級等の開催による学習機会の提供・各種団体の公民館使用による支援・公民館の環境整備、維持管理等を実施します。また、地域における生涯学習の推進を図るとともに、公民館の向上発展に努めます。				
点検・評価委員の意見	講座の実施にあたっては、人気講座を動画配信するなど広く市民の興味を引く発信方法を工夫したり、インターネット申込による利便性の向上、フリーWi-Fi導入による環境整備等を進めていただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	スポーツ振興事業	担当課	スポーツ振興課		
第1期基本計画基本施策名	スポーツの振興				
事業の目的・概要	初心者向け、少年少女向けのスポーツ教室・ニュースポーツ大会を開催し、スポーツ人口のすそ野拡大を図り、体力づくり及びスポーツの推進を目的に、幅広い年代を対象としています。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		663	1,202	55.2%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		1,202			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	競技大会	サッカー・剣道・野球・テニス・武道・ターゲットバードゴルフ大会の実施	2,200	1,152	52.4%
	スポーツ教室	初心者ソフトテニス・水中ウォーキング・正しい効果的な歩き方・ヘルスパレーボール教室の開催	500	220	44.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	事業参加者数	大会・教室の参加者数	2,700	1,372	50.8%
課題・問題点	令和5年度より、通常の事業展開が実施となりました。今後も、新型コロナウイルスの状況を注視しながら、事業開催に取り組んでいきたいです。				
今後の方向性・担当課の自己評価	これまでの新型コロナウイルス感染症による影響で、競技種目により開催を見送っています。今後は、各団体と開催に向けて取り組んでいきます。				
点検・評価委員の意見	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、令和5年度も大会・教室の参加者は増えていない。各団体の意向もあると思うが、生涯スポーツとしての取組も重要であることから、機会の確保を図っていただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	美術展・芸術祭・文化祭等の開催事業	担当課	文化振興課		
第1期基本計画基本施策名	文化・芸術の推進				
事業の目的・概要	市民との協働により美術展や市民とつくる美術展等を開催することで、市民の活動の場を提供し、芸術・文化の振興を図ります。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		1,417	1,669	84.9%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		3,145			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	石岡市美術展の出品数	石岡市美術展の出品数	230点	216点	93.9%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	石岡市美術展の出品者数	石岡市美術展の出品者数	200人	163人	81.5%
課題・問題点	美術展は、出品者の高齢化の進展等により、出品者・出品数が減少傾向にあります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	文化芸術推進基本計画に基づき、将来の世代へ地域の文化や伝統を守り育てて行けるよう、市民の自主的な芸術文化活動を支援します。				
点検・評価委員の意見	高校生など若い世代の参加を促す取り組みを進めるとともに、気軽に市民が足を運ぶことができる場所で開催することで広く市民に興味を促し、出品者の増加につながるよう積極的に取り組んでいただきたい。				

令和5年度事業 点検・評価表

事業名	文化・芸術関係団体への支援事業	担当課	文化振興課		
第1期基本計画基本施策名	文化・芸術の推進				
事業の目的・概要	市民が主体となった芸術・文化活動を推進するため、文化協会やアート協会等の活動を支援します。				
事業コスト	令和5年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		1,390	2,270	61.2%	
	令和6年度	予算額計(千円)			
		2,270			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	石岡アート協会 会員数	石岡アート協会の会員数	180人	124人	68.9%
	石岡市文化協会 会員数	石岡市文化協会の会員数	2,500人	2,177人	87.1%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R5実績	達成度
	石岡市文化協会 会員数	石岡市文化協会の会員数	2,500人	2,177人	87.1%
課題・問題点	高齢化の進展等により芸術文化活動に取り組む人が減少していることから、市民の幅広い参加を促進する取組を進めていく必要があります。また、市民会館の閉館により、活動場所の確保が課題となっています。				
今後の方向性 ・担当課の自己評価	本市には芸術文化を愛好する団体や市民が多いことから、市民の自主的な活動の成果を発表する場の提供や機会を継続していく必要があります。また、活動場所の確保に向けて、関係機関との協議を進めます。				
点検・評価委員の 意見	高齢化の進展等により、アート協会、文化協会ともに会員数が減少傾向にあり、後継者の育成は課題である。若い世代が関心を持つよう各学校への働きかけを行うなど、市民の幅広い参加につなげるよう検討していただきたい。				

4. 令和5年度教育委員会の点検評価における点検・評価委員の意見に対する令和6年度の実施状況 ⇒

(1)発掘調査事業についての意見

発掘調査箇所数が年々増加している。出土遺物の適正な保存管理及び公開に向けた人員や施設の確保を進めてほしい。

(1)発掘調査事業についての取組

統廃合等による空き公共施設活用の検討を含め、出土遺物を適正に保存管理・公開ができる施設の確保を目指すとともに、専門的知識を有する職員の配置を求めています。

(2)文化財保護保存及び普及経費についての意見

増え続ける出土遺物の適正な管理や、石岡市の歴史や文化財の魅力発信に向け、統廃合後の学校施設を活用した保管場所や、市外からの来訪者目線での利便性を考えた展示拠点づくりを進めていただきたい。

(2)文化財保護保存及び普及経費についての取組

保管施設である文化財管理センターと展示施設であるふるさと歴史館の集約化あるいは機能移転について、統廃合等による空き公共施設活用を含め検討を進め、拠点施設の確保を目指していきます。

(3)筑波山地域ジオパーク推進事業についての意見

子どもたちの郷土愛醸成や地域の魅力発信のため、構成6市と連携しながら、案内板設置などの環境整備、学校教育との連携強化、ジオツーリズムによる交流人口の拡大を図り、日本ジオパークの再認定に向けて進めてほしい。

(3)筑波山地域ジオパーク推進事業についての取組

構成6市で連携しながら、案内板の設置や市内小中学校でのジオパークの活用、一般市民向けの講演会やツアーの開催等を行い、日本ジオパークの再認定に向けて進めていきます。

(4)スポーツイベント事業についての意見

スポーツの振興に向け、プロチームの選手や指導者をコーチとして招くなど、子どもたちが興味をもって参加できるイベントや、ジオパークや恋瀬川サイクリングロードなど地域資源を活用した新たなスポーツイベントを検討してほしい。

(4)スポーツイベント事業についての取組

安全性や対策等を講じながら、当市の特色を取り入れたハーフマラソンや地域資源を取り入れたトレイルランを実施しております。

今後は、自転車活用推進事業の一環として自転車事業を計画しておりますので、魅力ある事業開催に努めてまいります。

(5)放課後児童健全育成事業についての意見

引き続き保育に対するニーズを把握し、支援員向け研修を重ねることで、待機児童ゼロ、保育サービスの向上を維持していただきたい。

配慮を要する特性を持つ児童も在籍していることから、必要に応じ専門的知識を有する人員の配置を検討されたい。

(5)放課後児童健全育成事業についての取組

委託業者は利用者や保護者の声を的確に把握・分析するよう努めており、支援員向けの多彩な研修や、保護者との連絡ツール（専用アプリ）を活用するなど、更なる質の向上に取り組んでおります。事業者との連携を密にし、情報共有しながら、より良い保育サービスの提供に努めます。

また、配慮を要する児童が年々増加してきておりますことから、委託業者において必要に応じて支援員の増員を行っているほか、教育支援担当課や福祉部門との情報共有を強化し、児童や保護者が安心して過ごせる環境づくりに努めております。

(6)家庭教育推進事業についての意見

長期欠席児童生徒数が前年度に比べ増加しており、子育てに悩みを抱えている保護者や家庭が増えていると思う。そういった保護者や家庭が孤立することがないように、必要に応じ福祉部門とも連携しながら支援するなど、地域社会、学校及び行政が一体となって家庭教育を推進していただきたい。

(6)家庭教育推進事業についての取組

悩みを抱えている保護者や家庭に寄り添い、その解決の一助となるよう、市内全小学校の就学時健康診断の際に、就学児を持つ保護者に対する子育て学習講座と面談を実施しているほか、訪問型家庭教育支援として、市内幼児教育施設、小中学校の全保護者にチラシを配布して周知を図り、相談対応しております。

また、小中学校長や市の福祉部門担当者、幼稚園・保育園関係者、家庭教育支援員等からなる石岡市家庭教育力向上推進委員会を定期的に開催し、家庭、地域社会、学校および行政が一体となってきめ細やかな家庭支援を図るため、家庭教育推進の取り組みを協議しております。

(7)学校いきいきプラン推進事業についての意見

教育機会の確保や予算の有効活用のため、学校の実態や独自性がいかされた事業内容となるよう、計画策定への指導や助言をしてほしい。

来年度、統合再編により小学校2校の学区が拡大するが、旧学区相互の地域や文化の理解を深める事業に対し積極的に予算配当されたい。

(7)学校いきいきプラン推進事業についての取組

教育委員会として、より質の高い事業を進められるよう、事業要領や実施要項の整備を進めています。今後は、学校教育課にも協力を仰ぎながら、事業計画に対して積極的な助言・指導を行いたいと考えています。

また、令和6年度に統合した2校に対しては、地域理解を深めるとともに、子どもたちの交流機会創出の観点から、閉校した学校分を考慮した予算配分をしています。

(8) 語学指導事業についての意見

グローバル化が進む中、児童・生徒の「生きる力」を育む上で、外国語学習は重要な位置づけとなる。授業づくりや評価等の研修会を積み重ね、外国語学習への興味・関心・意欲（動機づけ）の向上に努めていただきたい。

(8) 語学指導事業についての取組

英語教育推進委員を対象に、指導方法や評価等に関する研修を行っています。また、「外国語科授業づくりサポート」として、本年度は小学校の英語の授業を小中学校教員が参観（年15回実施予定）し、授業方法の共通理解や小中連携・小中連携を図っています。

A L Tは市内20校に14人（小学校7人、中学校6人、小中両方1人）がおり、増員はありませんが、ブレンディッド授業（通常の授業とオンライン授業などを1時間の中で行うもの）を実施することで、児童生徒がA L Tによる英語を聞いたり、話したりする活動を増やすなど、言語活動の充実を図っていきます。

(9) 学校給食調理事業についての意見

給食の実施に当たり、食中毒や事故等がなかったことは素晴らしいことです。引き続き学校・家庭と連携協力し、事故等の未然防止に努めるとともに、地場産物の活用や食育指導を充実させ、望ましい食習慣の形成、食べ残しの削減につなげてほしい。

(9) 学校給食調理事業についての取組

令和6年度においては、給食への地元産有機農産物のより一層の活用を位置付け、予算の確保をいたしました。

安全安心で美味しい給食の提供及び子供たちが食に関する正しい知識と食習慣が身に付くように食育指導の充実に努めて参ります。

(10)放課後子ども教室推進事業についての意見

多彩な事業内容の企画により、多くの児童が放課後子ども教室に参加し、異年齢集団での活動を通じ、社会性を培うことにつながっている。引き続き各校での課題を地域協力者、学校、委託業者と連絡調整し、児童の安全を確保した上で事業の充実を図ってほしい。

(10)放課後子ども教室推進事業についての取組

令和5年度はそれぞれの学校の実態に合わせた様々な企画を行い、延6,235名が参加いたしました。

今年度も引き続き、子どもたちの自主性、創造性、社会性等の豊かな人間性を育むため、委託業者の事前計画に対して指導・助言し、学校の理解と地域の協力を得て、地域協力者、学校、委託業者と緊密に連絡調整を図り、児童の安全・安心を確保した上で事業の充実に向けて努めております。

(11)青少年相談員体制推進事業についての意見

青少年の非行防止、健全育成になくてはならない活動を担っている青少年相談員の皆様には感謝いたします。効果的な活動の維持継続のため、相談員の定数確保、子どもたちの活動実態の把握、活動内容・日程の調整に努めていきたい。

(11)青少年相談員体制推進事業についての取組

青少年相談員の街頭巡回指導を年度当初の計画どおり実施しているほか、青少年の健全育成に協力を依頼する店舗訪問や相談員の資質向上を図るための研修等を意欲的に活動しております。

相談員につきましては、学校や団体などから、PTA、生徒指導担当教員、民生委員・児童委員、相談員経験者を推薦していただき、今年度は57名の相談員を委嘱しております。

就業している相談員につきましては、平日昼間の児童生徒の下校時間における街頭巡回指導への参加が難しいことから、夜間街頭巡回指導（8月）や休日に実施する柿岡の祭礼（7月）・石岡のおまつり（9月）の巡回指導に積極的に参加してもらえるよう働きかけを行いました。

今後につきましては、より多くの相談員が効果的に参加できるよう引き続き、活動内容、日程を検討してまいります。

(12) 青少年を育てる石岡市民の会等による青少年育成活動支援事業についての意見

次代の社会を担う子どもたちのことを第一に考え、学校や地域に根差した活動が支部ごとに実施できるよう、意見交換、情報共有できる場を継続して設けていっていただきたい。

来年度、学校統合再編に関連する支部組織や事業計画づくりを支援していただきたい。

(12) 青少年を育てる石岡市民の会等による青少年育成活動支援事業についての取組

次代の社会を担う子どもたちが明るく健やかに成長できるよう、今年度も対面による総会（6月）において、活動方針を承認・確認いたしました。

また、各支部の課題や、地域や支部組織の規模に応じた取組について意見交換、情報共有できる場としまして、本部役員・支部長会議（9月）、学校統合再編に係る支部長会議（9月）を実施いたしました。

今後も引き続き、地域の未来を担う子どもたちの健全な育成のために、学校や地域に根差した支部活動が継続できるよう、事務局として事業の企画・運営の補助や本部と支部との連絡・調整を図りながら、地域の実情を踏まえた支部組織についても検討していきます。

(13) 子ども会育成事業についての意見

石岡市子ども会育成連合会が解散し、子ども会加入児童数も減少傾向の中ではあるが、今後も存続する単位子ども会の会員児童の確保や事業実施に対する支援を継続していただきたい。

(13) 子ども会育成事業についての取組

石岡市子ども会育成連合会（石子連）が解散となったのち、令和5年度からは単位子ども会会員の安全会加入の手続き、単位子ども会事業についての相談や助言、備品の貸し出し等を行っております。

今後も引き続き、地域の子ども会活動を支援してまいります。

(14)小中学校コンピュータシステム整備事業についての意見

校務用パソコンや統合型校務支援システムの導入により業務の効率化、教職員の負担軽減が図られている。それらの更新に当たっては、取り扱う教職員の意見を踏まえ、共同調達構成市町村と協議し、更なる利便性の向上に努めてほしい。

(14)小中学校コンピュータシステム整備事業についての取組

統合型校務支援システムについては、セキュリティ対策の一環として閉域網での接続となっています。

校務用パソコンの入れ替えに伴い、セキュリティの強化（指紋認証及び物理キーの多要素認証）を行います。今後、教室内でも校務用パソコンが無線接続できるよう検討しています。

(15)学校統合再編事業についての意見

学校の統合再編に当たっては、児童生徒への教育効果・望ましい成長を第一に考え、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、スピード感をもって進めてほしい。

来年度廃校予定の4校を含む学校施設について、庁内又は民間での利活用についても同時に検討して行ってほしい。

(15)学校統合再編事業についての取組

統合再編計画の枠組みの内、南小学校（高浜・三村・関川・南）及び府中小学校（北・府中）について令和6年4月に統合を行いました。

八郷地区小学校の枠組みの統合の進捗が遅れていますが、令和6年度中に石岡市立小中学校統合再編計画の見直しを行うため、11月20日までパブリックコメントを実施しています。

南小学校における長寿命化工事については、一連の工事の最後としてグラウンド整備工事を行っています。

廃校となる学校施設については、北小学校は学校教育課による不登校支援等の施設である適応指導教室あすなろ等を府中小学校敷地内から移転して運営しています。

残りの3校については、民間提案を求めるためサウンディング調査を現在実施中です。

(16) 図書館ブックスタート事業についての意見

令和4年度はブックスタートパックの配布のみとなったが、今年度は、4か月健診時に配布、1歳児相談時に読み聞かせを実施し、保護者や赤ちゃんの負担に配慮しながら事業が実施できている。引き続きこの事業を通じ、読書の習慣づけ、図書館利用の促進につなげて行っていただきたい。

(16) 図書館ブックスタート事業についての取組

4ヶ月健診時の絵本の配布、1歳児健診時の読み聞かせを行うとともに、令和6年度から、ブックスタートのフォローアップ事業として、2歳児健診時に絵本の配布や図書館の利用案内を行うセカンドブック事業を新たに展開している。これらの事業を通じて、親子の触れ合いや読書習慣のきっかけづくりにつなげていきたい。

(17) 公民館の事業についての意見

公民館が地域交流の拠点となるよう、講座の実施に当たっては、多様化するニーズを掘り起こし、若い世代も興味をもち参加したくなる内容の講座を開設するとともに、講座のインターネット申込、フリーWi-Fi等、時代のニーズに対応した環境の整備を進めてほしい。

(17) 公民館の事業についての取組

公民館の利用者や若い世代の方々のニーズを調査するために公民館講座終了時にアンケートを引き続き行っています。

アンケート内容、講座内容等を各館で共有し、公民館活動を活発にしていきたいと思います。

また、講座募集要項を市報折込だけでなく、石岡市のホームページに掲載し、また、市公式Facebook・Twitterに記事掲載を行い、若い世代にも幅広く周知を行いました。次年度以降も同様に情報発信を行っていききたいと思います。

公民館の環境整備として、フリーWi-Fi（移動式）を導入したので、活用を図って行きたいと思います。インターネット申し込みについては、引き続き検討してまいります。

(18)スポーツ振興事業についての意見

令和4年度も大会・教室の参加者数が目標値に届いていない。高齢化社会において、生涯スポーツの大切さが叫ばれており、運動やスポーツに対する意欲は高まっていると思うので、各種競技大会や教室などの参加の機会を継続して設けていっていただきたい。

(18)スポーツ振興事業についての取組

誰でも気軽に参加できる事業として、水中ウォーキング教室をはじめ、市民の健康増進と体力づくりを目的としたウォーキング教室を計画し取り組んでおります。

ニーズにあった教室等を考慮し、今後も感染症を注視し安全対策も講じながら、生涯スポーツの充実に努めてまいります。

(19)美術展・芸術祭・文化祭等の開催事業についての意見

作品を広く一般の方に鑑賞してもらうことは、出品者のモチベーションや、将来の文化芸術の担い手の育成につながります。展示期間などを工夫することで、郷の風のほか本庁舎や運動公園で気軽に鑑賞できるよう、また、その情報発信を積極的に行うよう検討していただきたい。

(19)美術展・芸術祭・文化祭等の開催事業についての取組

事業開催にあたっては、市報やホームページ、SNS発信のほか、公共施設、近隣市町村の文化施設や美術部のある近隣高校等にも周知ポスターの掲出を依頼し、情報発信に努めていきます。

また、美術展等の郷の風での開催にあたっては、図書館「郷の本棚」利用者への周知・誘導を図ったことで効果が出ていることから、引き続き進めていきます。

(20)文化・芸術関係団体への支援事業についての意見

アート協会、文化協会ともに会員数が減少傾向にあるが、市民主体の芸術文化活動推進のため、各種団体の活動や発表場所の確保、情報発信等を引き続きサポートし、後継者の育成につなげていっていただきたい。

(20)文化・芸術関係団体への支援事業についての取組

各種団体の小中学校との連携を引き続きサポートし、会員数の増加及び後継者育成を図っていきます。また、各種事業の開催にあたっては引き続き市報やホームページ、SNS発信等を行い、情報発信を進めていきます。

5. 参考資料

参考資料①

石岡市教育委員会事務局組織機構（R 6 . 4 . 1 現在）

教育長	部長	次長	教育総務課	小学校 15 校 中学校 5 校
			参事学校再編担当兼教育支援担当	学校再編推進室
		次長兼営繕担当	学校教育課	
			生涯学習課	中央図書館
			文化振興課	
			中央公民館	府中地区公民館 東地区公民館 城南地区公民館 国府地区公民館
			スポーツ振興課	石岡運動公園 八郷総合運動公園 海洋センター
			学校給食課	石岡学校給食センター 八郷学校給食センター

石岡市教育事務点検・評価委員要綱

平成20年11月20日
教育委員会告示第43号

(設置)

第1条 石岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うに当たり、同条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、石岡市教育事務点検・評価委員（以下「委員」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員は、次に掲げる事項について調査を行う。

- (1) 教育委員会が行う事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項。

(委嘱)

第3条 委員は、3人以内とし、学識を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任は妨げない。

(その他)

第5条 この告示に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

発行 令和7年1月
編集 石岡市教育委員会 教育総務課
〒315-0195
茨城県石岡市柿岡5680番地1
TEL 0299-43-1111
FAX 0299-43-1117